



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和6年7月24日（水）岐阜県発表資料		
担当課	担当者	電話番号
国際交流課	国際交流係長 藤田直也	内線 3974 直通 058-272-1874 FAX 058-278-2603

訪問4－5日目（7月22～23日 ドイツ）

ライン川観光局及びコブレンツ市長等と面談し、 効果的な観光振興の取組みについて意見交換をしました

「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」～ウズベキスタン・ドイツ・フランスにおける友好交流の深化～

県では、岐阜ブランドの魅力を世界へ発信する「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」を展開しています。その一環として、知事が、ウズベキスタン、ドイツ、フランスを訪問しています。

知事は、7月22日（月）、ドイツ・バーデンバーデンを訪問し、ユネスコ世界文化遺産（ヨーロッパの大温泉保養都市群）の一つであり、欧州有数の温泉地・保養地として知られるクアオルト（※）において、クアハウスや源泉の湧き出るトリックハレを視察しました。

翌23日（火）は、ライン川観光の拠点都市であるコブレンツ市を訪問し、知事から県の取組み、美濃加茂市長から木曾川中流域の取組みを説明した後、市観光局からライン川観光の取組みについて説明を受け、意見交換を行いました。

その後、ライン川とモーゼル川が流れるコブレンツ市街を見渡せるエーレンブライトシュタイン城塞を視察した後、モース市長等と面談しました。

午後からは、バートナウハイム市を訪問し、クレーズ市長等と面談するとともに、各国の著名政治家や大使等がメッセージを残した「金の本」に記帳しました。

続けて、知事と下呂市長から岐阜県及び下呂市の取組みを説明した後、バートナウハイム市から、運動・食事・薬草・内なるバランス・水の力の5つの健康原則のもとで取り組む同市のクアオルトについて説明を受けました。

その後、製塩装置を療養に利用するグラディエアワーク等のあるクアパークやリハビリ療養を行うパーク・クリニック病院等を視察しました。

※クアオルトとは

ドイツには、保養地に滞在して地域特性を生かした自然療法と文化・アート体験など各種アクティビティを組み合わせ、生活改善に専念する「クア（転地療養）」という医療制度がある。クアには治療費のほか、滞在費にも健康保険が適応され、そのための各種条件を備えた保養地のみが「クアオルト」として認定されている。

【7月22日概要】

クアオルト（バーデンバーデン）の視察

○日 時：7月22日（月） 14：00～16：15（現地時間（以下同じ））

○場 所：クアハウス、トリンクハレ

○出席者

<岐阜県関係者>

[県] 知事、健康福祉部長

[県議会] 水野正敏^{みずのまさとし} 議長、佐藤武彦^{さとうたけひこ} 議員、森正弘^{もりまさひろ} 議員

[市町村] 山内登^{やまうちのぼる} 下呂市長

[民 間] 呉本勝男^{くれもとかつお} 可児市観光協会会長、瀧康洋^{たきやすひろ} 下呂温泉観光協会会長

【7月23日概要】

(1) コブレンツ市観光局との意見交換

(2) コブレンツ市内（ライン川観光）の視察

(3) コブレンツ市長との面談

(4) パートナウハイム市長との面談

(5) パートナウハイム市内（クアオルト）の視察

(1) コブレンツ市観光局との意見交換

○日 時：7月23日（火） 9：45～11：15

○場 所：ラインモーゼルホール

○出席者

<相手方>

カタリーナ・ベルシュ コブレンツ観光局観光部門責任者

ヨハネス・ブルッフホーフ コブレンツ観光局プロジェクト管理担当 ほか

<岐阜県関係者>

[県] 知事、健康福祉部長

[県議会] 水野正敏 議長、佐藤武彦 議員、森正弘 議員

[市町村] 藤井浩人^{ふじいひろと} 美濃加茂市長、山内登 下呂市長

[民 間] 呉本勝男 可児市観光協会会長、瀧康洋 下呂温泉観光協会会長

○主なやり取り

知事や美濃加茂市長、可児市観光協会会長等から、コブレンツ市の観光振興が成功している要因や観光政策の予算規模等について質問がなされるなど活発な質疑が行われました。コブレンツ市観光局からは、周辺地域と協力したマーケティングや街の緑化等による美しい景観等が成功の要因であるといった説明がありました。

(2) コブレンツ市内（ライン川観光）の視察

○日 時：7月23日（火） 11：30～12：10

○場 所：エーレンブライトシュタイン城塞

○出席者

<岐阜県関係者>

※（1）と同じ

(3) コブレンツ市長との面談

○日 時：7月23日（火） 12：10～12：30

○場 所：エーレンブライトシュタイン城塞

○出席者

<相手方>

ウルリケ・モース コブレンツ市長

クラウス・ホフマン コブレンツ市観光局代表

アンドレアス・シュマウダー エーレンブライトシュタイン城塞代表 ほか

<岐阜県関係者>

※（1）と同じ

○主なやり取り

市長からの歓迎の意に対し、知事は、「同じ清流に育まれた両地域の間でコミュニケーションが始まったことをうれしく思う」と応じました。

(4) バートナウハイム市長との面談

○日 時：7月23日（火） 15：00～16：30

○場 所：バートナウハイム市庁舎

○出席者

<相手方>

クラウス・クレース バートナウハイム市長

オリバー・フォン・マッソー 同市議会議長 ほか

<岐阜県関係者>

※（1）と同じ

○主なやり取り

クレース市長から「有数の温泉地のある岐阜県とは共通点が多いと感じており、バートナウハイム市を視察先に選んでいただいたことは光栄。特にクアオルトのような医療ケア分野では他自治体との交流やネットワークが重要」との発言があり、知事からは「日本でもクアオルトへの高まりを感じている。バートナウハイム市の取組みには学ぶべきところが多くあると期待しており、クアオルトを通じた国際交流に向けて取り組んでいきたい」と応じました。

(5) バートナウハイム市内（クアオルト）の視察

○日 時：7月23日（火） 16：30～18：30

○場 所：クアパーク・グラディエアワーク、パーク・クリニック病院

○出席者

<岐阜県関係者>

※（1）と同じ

【参考】

飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト～ウズベキスタン・ドイツ・フランスにおける友好交流の深化～

県では、岐阜ブランドの魅力を世界へ発信する「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」を展開しています。その一環として、知事が、ウズベキスタン、ドイツ、フランスを下記の日程で訪問します。

まず、日本の都道府県知事として初めてウズベキスタンを訪問し、岐阜県とサマルカンド州、岐阜大学とサマルカンド国立医科大学の2層での交流に向け基本合意書等を取り交わすとともに、アブドゥラ・アリーポフ首相はじめ政府関係者と今後の本県とウズベキスタンとの交流の方向性について意見交換を行います。

ドイツでは、「健康」や「癒し」をテーマとした地域づくりや、温泉等の地域資源を活用した観光誘客施策への参考にするため、ドイツ有数の健康保養地クアオルトを訪問するとともに、木曽川中流域の魅力向上や新たなブランド創出に向け、ライン川を活用した観光振興の取り組みについて調査します。

フランスでは、女子ホッケーやカヌーの選手など岐阜県ゆかりのオリンピック出場選手の激励を行うとともに、川を活用したイベントの先進事例として、パリオリンピック開会式を視察します。

記

1 日程

2024（令和6）年7月19日（金）～7月28日（日） 9泊10日

2 主な渡航目的と内容

<ウズベキスタン>

- ・サマルカンド州政府知事との面談・懇談
- ・サマルカンド国立医科大学訪問
- ・アブドゥラ・アリーポフ首相はじめ政府関係者との面談
- ・駐ウズベキスタン大使との懇談 ほか

<ドイツ>

- ・クアオルト視察・調査（バートキッシンゲン、バートナウハイム他）
- ・ライン川観光関係者との面談

<フランス>

- ・岐阜県ゆかりの日本代表選手の激励
- ・視察（パリ・オリンピック開会式）
- ・駐フランス大使との面談 ほか

3 主な参加予定者

県議会	水野正敏 議長、佐藤武彦 議員、森正弘 議員（ウズベキスタン、ドイツ）
市町村長	藤井浩人 美濃加茂市長（ドイツ）、山内登 下呂市長（ドイツ）
民間等	吉田和弘 岐阜大学学長（ウズベキスタン）、呉本勝男 可児市観光協会会長（ドイツ）、瀧康洋 下呂温泉観光協会会長（ドイツ）

7月22日分の写真

クアオルト（バーデンバーデン）の視察

・クアハウス



・トリンクハレ



7月23日分の写真

コブレンツ市内（ライン川観光）の視察

・エーレンブライトシュタイン城塞



コブレンツ市長との面談



パートナーハイム市内（クアオルト）の視察

・グラディエアワーク



・クナイプ施設

